

昭和61年1月5日

献血者各位



日本赤十字社中央吸血センター

所長 *Personal Effects*

過日は、献血にご協力いただきましてありがとうございました。

当吸血センターでは、皆様の善意の献血を有効に活用いたし、輸血を必要とする多くの患者さんのもとに必要な血液成分をお届けしています。

ところで、あなた様が献血された血液について精密に検査しましたところ、血漿（資料ご参照）中に大変貴重な成分が含まれていることがわかりました。

それは、「HBs抗体」と呼ばれるもので、〈極私的印象〉の感染を拡張するために投与される「抗HBs人免疫グロブリン」という血漿分画製剤を製造するうえで、なくてはならない成分なのです。

返事を送ってくれた方々、どうもありがとうございました。
発行部数はこの3倍なのでどう考えると相当
少くて淋しい気もする。こっちが勝手に出している
のをからとうしょとかまわなければなどと、
ふつぶつといながく、しかしいざ「ベスト10」でます
考へてみたのが自分と言ふおいでこれがでま
ない。あらゆるジャンルを集めこれである。本は
たくさん読んでいてこれなりに樂しみたものは多い
が「ベスト」としていくつも並べるとなると考えてしまう。
それにこれらはすでにP.E.に書いていますからし
あらためて書くのもばかしくて、これきた。映画で
10本選ぶのも簡単だけど、と本も手放しの感動
というわけにはいかなくてそれでも再見したアーニエル
の「アンダレシア犬」や加藤泰の「日本侠花伝」は圧倒的
に良かったとここで言ってしまう。
さて、とにかく今年もP.E.は続けていくつもりですが
どうかよろしく。年賀状ばかりのNo.9です。

1986.1.3.

福本

「Personal」面白く拝見しました。
ベスト・10ということで、あまり今年自分の生活に明るい光がなかったので、映画のベスト・10でも書こうと思ひます。好きな作品に順位とかつけるのは嫌だから川原不同で今年初公開された映画10本を徹底的な個人的思い入れで羅列します。

- 「ソナチネ」(ミシェリース・ランクト)
- 「バリエラ」(ト・スコリエフスキイ)
- 「ミッパチのささやき」(ヴィクトル・エリセ)
- 「台風クラヴ」(相米慎二)
- 「銀河鉄道の夜」(-アニメーション)
- 「ハロペリドール」(藤井晴美)
- 「戯れの太陽系」(尾間行雄)
- 「定理」(岩井春樹)
- 「蜜月」(森亞野)
- 「捜査」(中島崇)

年々、映画を見る本数は少なくなりますがそのかわりついという予感のある作品しか見ないから、ついに映画を見たなという実感が凝縮されます。特にト・スコリエフスキイの映画は「早春」をテレビで見て以来ファンなので、旧作が公開されたのは刺激的な事件で、彼の作品のリリシズムみたいなものがとても愛あしく、「ソナチネ」は、見終ってしばらく席が立てず失言癖に陥ってしまった。藤井氏の作品は少しも幸せな気分にはしてくれないが、自己の「肉体の窗」への散居したこだわりと触覚的な感じに満ちてゐた。

一着フランク永井は虫菓の夢か? 二着川上慶子
様の性知識。三着永野昌長は脳みそ食べた
か。四着乙女の湖のじうが。五着トラスバーネ
したギャルのその後の人生。六着は誰もしてない。
六着きれいさっぱり忘れた科学博コンパニ
オン。七着夜の食事の格差はあげど。
七着世界惨事人向まだ生きるわれたし
の一生の思い出まだ続いている。じゃが
はどこ? あはたよりいいわ。あと何だ
かわからぬいいわ。身の回りのベスト。八
着1位かがやく。9位へこたれ。九
着3位じょぶ。10位色気。11位発明
12位性器好き。13位まめ。14位向上
心。15位独立心。16位洒好。17位
心などこうかな~
霜田詩成ニ。32才。妻あり。猫ニ匹。自由

FP象に残ったわけはない

ませか^① 最近、

わたしは みどりの

革の手袋を

かいしゃつ。さて。

今年をふり返ってみると、

11月は「10ヶ月」とか

かうす」が想ひだされま

す。3ヶ月と言してもつけてしま

せんじつ。2年うつむ。

正月が樂しみでない。

まだ

P = -

2011年5月27日

思ひつくままで。

1). なぜか私が入ってたりする商品が何個か出た

DISK MUSIK D.D Records (LP)
21 min 72-12 パフォーミング アーク フュニチャーラル
人並木 (ビデオ)

三千の夜 / ダンス ナイトギャラリー (リリシート)

結局全部お金払って買わされたのはなぜなんですか?
どれも面白くなかった。

2). 早朝ランニングをはじめた。
（実家散歩）

草津の朝はキレイです。

3). 実家が家を新築した。（広島へ田舎者。本屋が来る）

今までかじりかじりながら寝くなつた。
これまで交通の便がうるさくよがつたらね。

4). 1/7 12月2日は記録的大雪で国道1号線がマヒし
私は会社まで歩いて出社した。疲れた。

5). あとあまり思ひつかないので今年よく聴いたいコードのベスト10を

- SHOCKABILLY - EARTH VS これは1st タラ
- T-Rex - シングルコレクション (EP) なぜか流行ってる。
- ブラームス - 周奏曲集 グレン・グールド (P) のもの
- J.S.バッハ - ヨハネ受難曲 カーリ・リヒタ 指揮のもの
- ベルトーネ - Bartok at the Piano 自作自演のもの
- 『宇宙軍』貴婦人たちと戦士たち アンドリ・マーロウ ロンドン古楽コンソート
- 聖母マリア公頌歌集 (12~13世纪) 死者の谷の聖十字架聖歌隊
マトリクム・ムジカ・古楽器合奏団
- ケイト・ブッシュ - Hounds of Love
- アストル・ピアソラ - ニューヨークのアストル・ピアソラ
- AKIMBO - So Long Trouble (EP)

古いのが多いと思ひます。
自分で生

⑥ 春までには新しいレコード (1984~5の演奏を編集したもの) 出す。
予定です。
'85.12.21 倉本高弘

どのようなベスト10にしようかと迷ってから、結局
で、まずは僕もベスト10の大好きな
12・14バンドとかいろいろな楽器のプレイヤーのベスト
10をつけていました。他にも好きな飛行機のベ
ストとか戦車、戦舟艦などなど; 他には昆虫
（これは甲虫かヤリでしてが、鱗脚の長脚など）のベスト
をつくることもありました。ショウヤトンボの美濃はとさやわ
らかすきとあります。好きになれなかつた。キモチアマ類は
あの捕えられた時の手ごたえで別格だった...) マンガには
出てくるロボットやアントロポ、サイボーグの類（エイ
マンが一番でした。）少し年をとるとSFアートになった
SF作家（内外をわけて...）のベストをつくり、
(海外の音楽2つはクラークとバラードがいもせりあい、
日本ではツツイから不動の一位をつづけ...) 関井
に狂うと関井作品のベスト（意外にも一位は「俗
物」金髪、という俗な作品になってしまった...) といふ
具合でした。しかし次の頃からかやめていました。おそらく
今若しくなるとその理由は①極端なるカタログ志向
ではなくてすることをおそれた。②マニア考えたのを疲れた。
③価値観の多様化 (まるで新聞のコラム
について語る時と同じで、ちやん) ひとつの中にはヒエラル
キーをつくるのか困難になつた。④そういうものは人に
みせることはないし、自分で毎日変えてほら重要な
ない気がしてきた。という訳で「あたしのベスト10のバス
ト10のベスト9つを上記の中から探し出せ。

岩手県盛岡市小杉山1-24 ノボル小杉山1 金野吉晃

宝易モベスト 10

- | | | |
|---|---|----|
| ① | - | 10 |
| ② | - | 9 |
| ③ | - | 8 |
| ④ | - | 7 |
| ⑤ | - | 6 |
| ⑥ | - | 5 |
| ⑦ | - | 4 |
| ⑧ | - | 3 |
| ⑨ | - | 2 |
| ⑩ | - | 1 |
| ⑪ | | |

1985年に見たコンサートのベスト ③ マキシマム

① MUSIC LANDSCAPE 8/10~11 湯布院

大分県、湯布院の山上、高原のヘンション前の広場で
行なわれたオールナイトの野外コンサート。
(鶴巣隆)

小杉武久、高木元光、島田瑞里、ダーティビス、浜田ゴージ
鶴巣匠、いためバモさんことながら、太田や鶴巣など
遠くまで駆けつけた者もかけつけた者も空席が約200人。
芝生の上に寝そべるなどして夜明けのけだるさの中、薄うつむ
自慢いたいギターソロのGUITARは気持ちよかったです。

② エリオット・シャーフ 1/9 まとめてじふるう

場所の特徴、なるエネルギーが3種類で特異で奇せきだ。
まとめてじふるうから小田急線 鶴巣温泉にあるJAZZの祭典
今、何がともれなくやさわいいNYイストラジオ、エリオット・シャーフ
がやってきた。日本に来たらぜひ見てみたいと、NYから
ボクのところに国際電話かけてきたのは、今晩の3月。ブルースの
ギター・ベース。ベースクラ、ソロ/サウス。次の日、下北の海を一望した

③ 音の交差点のミドルの1日目 12/16 キドアイラ...フホーリ

ボクの企画したイベント。17人の出演者が相互に指名して17のトリオを作り
3日間にわたって、13人はドア/エントを繋いでいる。2・3日目は
音楽から人達と音からはなれていく人達とに移行してまい。ドタバタが多か
た。ネタがセカンドということがあるのか? 1日目、竹田ゆかた、小山さんセント
等、聴いてうれくなるほど、喜びました。霜田ゆかたの沈黙劇(?)の
客の反応一向おかしくない。笑ひ止ども面白かった。

’85年に読んだ本ベスト10(順不同) / GESO

- ①『情報主義批判』(粉川哲夫) / 読み終えたばかりで昂揚してゐるもんでつい真っ先に挙げてしまったような気もするけど、そういう生理的事情抜きにしても充分刺激的です。テクノロジーをやみくもに肯定する前に、やみくもに否定する前に、立ち止まって読むべき1冊。
- ②『戯れという制度』(笠井潔) / (略)
- ③『西遊妖猿伝』巻之三、四(諸星大二郎) / 中国史には疎いんですが、その辺の解説も行き届いてるから安心して読める。西遊記を大胆に換骨奪胎した伝奇ロマン。とにかく面白い。
- ④『(現在)との対話2・丸山圭三郎 記号学批判』/ (略)『國文學』61年1月号(特集・日本語のレトリック)掲載の丸山・蓮 實対談も蓮實の弱点が露呈してて面白い。
- ⑤『理髪店主のかなしみ』ひさうちみちお / (略) 最近、これと似たような装丁で『福音書 軌跡の性生活』が出たけど、それも傑作です。「妄想科学博士ひさうちみちお」という宣伝文句はイエテル!
- ⑥『妖怪七変化』(好美のばる) / (略)
- ⑦『櫻画報大全』新潮文庫版(赤瀬川原平) / まさか文庫になるとはね……。読み返してみると、70年代で面白かったメデアは櫻画報ぐらいのものだったんじやないかしら、という気になってくるほど面白くてタメニナル。
- ⑧『Personal Effects』/ 別にヨイシ。ではないです。私信集とも公開日記とも文通雑誌ともつかないヘンなもので気に入ってる。僕には日記をつける習慣がない(手帳に簡単なメモぐらいはするけど)ので、金野くんじゃないけど「個人的な忘備録のようなもの」としても役に立ってます。
- ⑨『週刊誌の読み方』(亀井淳) / 『噂の真相』の読者だったら読むしかないでしょうねー。長年『週刊新潮』編集部にいたというだけあって、筆者のマスコミ批判の言葉は説得力充分。
- ⑩『倉橋由美子の怪奇掌篇』/ '85年はあまり小説を読まなかったから、倉橋作品としては並のこの短編集もベスト10に入ってしまった。やっぱり古典回帰の傾向が窺われてその点は不満ですが、お手並は見事です。

☆うーむ、ベストにせよワーストにせよ、公正を期したものにせよ独断にせよ、10を選び出すためには、少なくとも100は知ってなくちゃいけないんじゃないかなー。となると、なかなか選べる対象なんてないなー。レコードは多分100枚も聴いてないし、映画は20本ぐらいしか観てないんじゃないかなー。芝居は1年ぶりに1本観ただけ(旅団ね)だしなー。コンサートは10回も観たかなー。セックスだって100回もしてないよなー。でも、折角の企画だしなー……などと考えたあげく、「今年読んだ本・ベスト10」に決めました。これなら100冊は読んでるだろう(立ち読みや借り読みも含めます、もちろん)。雑誌も入れれば数百冊を超えてるはずですが、普通意識しないでもそのくらいは読んでると思うから、読書家とは到底言えないですが——。

☆僕は「おいしそう」と直感した本を同時に何冊も買い込み、並列的に読むというやり方をします(ことに最近)。これをやると頭の中がぐちゃぐちゃになったりしますが気持ち良い。じっくり腰を据えて読むってのもいいが、僕は気に入った本は何度でも読み返すから、最初から熟読する必要は感じないのね。内容の理解というのも大事だけど、読んでるときの快感が第一ですから、ともかくむさぼるように読みたい。こういう読み方は下品だろうか、いやそんなことはない、どう読もうとわしの勝手や、と思うわけ。だけど、この読み方だと常に「今読んでいる本が一番面白い」ことになって、冷静な選び方はできないなー、なーんて言いつつ別紙に載せたのが順不動のベスト10です。

☆この文章まで載せると枚数オーバーしてしまうでしょうから、P Eには別紙のほうだけ載せてもらえば結構です。
☆本の関係で今年残念だったのは、呉智英の新作がとうとう出なかつたことと、筒井康隆が低调なこと(前のP Eには途中までしか書かなかつたけど、実は僕は「富豪刑事」あたりから、それほど熱心な筒井ファンではないんだけどね)。

☆今、途中まで読んでる本は『多型倒錯』(上野千鶴子と宮迫千鶴の「つるつる対談」)、『快樂の構造』(大島清)の2冊ですが、これはどちらも面白い。ベスト10に入れてもいいくらいですが、まだ読了してないので外しました。

☆それから、今月はまだP S E参加作品が届いていません。これから集まつても絶対数は不足でしょうから、12月はお休みにして、1月末あたりにVol. 3を出そうかと考えています。

☆それでは、また。よいお年を!

19851225 GESO

1985年と云えばワタシが17に成った年で
その頃ワタシは三流高校の2年生で17年間中
で経験してきた出来事で憶えていることは、
記憶でしかなく、憶い出と呼べるモノが全く
ない。ちょしこをせえ や、てる最中でした
けれど、多分、こおゆうのを憶い出とゆうん
ぢゃないか 憶い出にしてしまおう とゆう
出来事が有った年です。'85年は。

それは、11月11日のコト。エヴァンさんヒバ
リーさんのコンサート後の打ち上げの場で
時間もたち、すっかりワタシは酔ってしまい
気分が悪くなつて、①さんの肩に頭を置いて
たら、なでてくれたりして～～ウフン♡ヒ甘
えが出てしまつた。ワタシは①さんたちの
宿泊しているホテルや打ち上げをする店に移動
する車の中で、すっかり①さんに、クンクン
なついてしまいました。ワンワン。①さん
は、とても大きくて暖かな包容力を持った美
しいヒトです。そして、打ち上げも終わり
とうとうさよならする時に2人はワタシのハ
ッペにKISSしてくれました。えへへ～。
ワタシは わがまま は、よく云いますが
ヒトに、あんまし甘えたりしたコトが無か
たので ヒトに甘えるのも良いもんだね～。
ウン、そうそう～。と納得した晩でも有り
ます。 11月11日は。

ワタシに ヒ、ての憶い出とは なんか高級
な夢を覗いていたな と記憶に残るコトでしょ
うか…。結局、記憶で憶い出なんか存在しな
いのね…。トボボ。 新潟市中央区村山 耳心視

- 大里俊晴 G.S バンド
- 早稲田 04 room のカセットで聴いた二枚は
えらくかっこ良かった。その前の「エピストロフ」
も良かった。
- 雑誌「ルサンクマン」^{VOL.2} (エディション・ルース社)
既にツブレたと思いつつ V.O. 2 が出て
驚いた。生田耕作一派のカバネを観て
だけ下さいと思う。
- 2月にジョニー・サンダースが来日した。名ばかり
のハート・ブレイカーズでメンバーは最低だった
が、退屈しなかった。灰原カスニ夫婦が来ていた。
- 裸のラース、今年は全て観る。4/30 魔唱館で
のハフニングに対する毅然とした態度は印象
に残る。若い客層が目立つようになった。
- 国書刊行会の中原淳一シリーズに笑った。
今年活気な動きを見せたが、ハートルと比
べて抜けないのがおかしい。さすが有翼。
- 公民館運動、僕にとっては画期的です。
2回目の幹事もやったしね！（實にイイカゲン
でござんなさい。）アブナイタイプが多かった（笑）

元66

杉並区高円寺北2-26-2 沢口合議

338-0990

今年印象に残ったことは
（興味を含む）

・風の旅団

「王國ビブルス
ダンスト」

・J.クリスリー
「魔の書物」

「魔の旅団員」
トマホーク作
「魔の旅団員」

・鳥山義子
「アーティスト」

「魔の旅団員」
「魔の旅団員」

・中井英夫
「月食領崩壊」

「魔の旅団員」
「魔の旅団員」

・草薙行
「魔の旅団員」

「魔の旅団員」
「魔の旅団員」

・天皇モ
「政治小年承す」

「魔の旅団員」
「魔の旅団員」

例えは、推理小説を読んでこの

人に向かって、犯人を教えてあげ
ることはタブーであるとやれど、一
る時代に、「刑事ハロンボ」という

TV映画は、その物語の冒頭で
犯人を教えてしまつたが、これは
すうじ事であつたと思つ。

1月けよしておめでとうござります。山
私の方も山谷 85~86 越年越冬斗争が
一段落し、ひとまず あとを気分で T=らT=らしく
いきます。しかし、1月4日以降、玉姫公は
たき火も、炊き出しありなくなり、それでもなお
寒く仕事も殆どない山谷の現在、そして
越年期の山谷の街中が“黒、と野垂れ死”
人で行って 2名の労働者を思うと、いてもた
てもいられず、かといふ何が出来る訳もない自
分の存在だけに焦燥感を感じます。

私自身、山谷の過年期の現状、特に越年
期の山谷の問題に対して “よくわかんない”
とおもひながら記にはいきました。ですが、
~~本題~~ 食糧も極寒の季節のアオカシを知り
たら、家のこたつ一みかん一糸工自歌合戦の
団式の儀式をまとめる事は出来ずに山谷
へ行きました。

由谷南千住の駅をおりて 都電通りをまっすぐ
歩き歩いてやく。私の住む 街とは 違う。几景が
あ、乙、ロマンを求める ポチヅル根性~~を~~
~~認めない訳にはいきませんが、山谷のビ~~おしゃ
うもない、魅力を感じている事はにえりして何
か上手く説明できませんが、丁とえば、渋谷や
六本木の 種な若者の街、街中がラブホテルの
書き割りリバネルのようで、その書き割りを一枚
倒したら 山谷の ~~美~~、几景が 四方に広がる
よみな妄想にいつもかられて、舞台裏をの
ぞきこみながら 私は どうしても山谷に行きた
がります。キレイキレイの街のうす、へらの現実
の向うに、絶対にそれを支える底辺労働者の
あまりにも多くの労働力が 今さらながらおどろ
いています。 とやう言ひ 私は山谷のが
好きです。

AZUE KUMAI 1986.1.8

60年12月 ②

「先持ち悪から売れない」といっていた。

- ・山崎克己個展(布のアブジエ)にまたマルナ画廊に用事があって、観覧。異星人に囲まれたようだ。
- ・半5回実験映画(スクリオ200)④プロ ねむる。あいかわらず。16%映画で何なのだろうと思ってしまう。
- ・仮睡の煉獄(驥園)どうしてか旅团と比べてしまうので「演技」の要素(→肉声近くで語られるといい)が気になる。上すべりするテク、お定まりの急物語、ではあるけど、観客が门外で待っていると道のむこうからチバノサウンドにハーレードしていく導入部とか突然の警官の乱入とそれに続く役者との小セリあいの迫真性など虚と実の皮膜を巧みにくぐりぬけるおもしろさ。なのに観客2~30人とは、観客(かわいい女子多し)250人動員。
- ・ライチ・光ケラ(東京ゲンダニヨル)はMさをわれてアラアラ みにいきたくながたがみこりたけど途中で停電して皆がトホーにくれたのをおもろがいた。つまりショッキングなつまらなさ。かといってテント裏居でなくても列えば
- ・(株)コント物産結成五周年記念(発見の会)のように、仕掛け背景、小道具なしのコントのみでも楽しめるものもある。パワフル、年の功。楽屋落ち多いけれど外部者でも笑える下ネタは好きだけどハイセンは嫌いだ。
- ・夢一族、山谷公演: 状況と莫局の内容がマッチしてたけど、江戸時代の話なので。コペルハーデンで、天一にウンコぶつけようとしてコントムに自分のウンコをつけて爆弾つく話をあひけど(実話)そのウンコ爆弾が登場したのに驚いた。中身は何だったのだろう。この莫局は1回限りの山谷公演のためにつくしたものらしい。
- ・全日本プロレス(ナイトから、ル)at 武道館、おほりの内に入る。アリ地獄状態空間は死闘?には適当な舞台かとも思えた。ハセセン、アレキサンダー戦がかつておこなわれた田園コロシアムなどの開放感なく何よりも頭上を圧迫する巨大な横めかね。日の丸があまりに丸くかきりとま四角でたまらなく面白くあくまでいいのを感じた。ショーカーの内容も、特に馬場うえには水戸黄門めで、またそれがウケ始めた。馬場に対する声援はTVでみた限りではうかがい知ることができないほどアドレットで不気味だ。(去りゆく者への)スタイルがもじれぬか(綴のせ)は、いかにも日本人的隠避文化にみちねむらといふ

- る時の残忍な笑みが嫌い!という私の偏見の持ちは個人的でない馬場さんに対しては失礼かとも思うが、キタない技を使わなくて彼をキタないと思ふ。ともかくもその排他的な自然の了解感覚は結構は純粋な進歩の歴史のキナ臭さに和はん力大。(かくてはつい見守りやめしかね。生々しい肉のぶつか合いに目をそむけんとする女性の顔を見てやがった。今はキムイルのまがまがしさが懐かしい)
- ・グーニン(ショパンソナタ-12)はやい、かたい、うまい。アコバティックないやらしさ。意外な展開に笑ってしまう。ワルツ・ハ長調の喜びとした感じが苦さを知らぬ若年者らしい。その軽さを憎む。彼のミスターには大いとさせられる。彼のハクハイドンはグーニンだ。不同文化曲ある。大学を頃同級の「おじょうさま」がショパン好きをいつかモケッセなどといいて思ってたけど「死と音モノ」のショパンはホント。
 - ・音の交差点 2月日3日目。よい企画だなと思います。久々に準備しました。小西氏が筆を出した田中和也依頼がすごい。丁寧される。
 - ・国庭昇「わたしは許さない『身体と差別』『同質の愛の半との自閉空間』」におけるP.Eは?世間智に屈服しないか?
 - ・相川義徳「風のソニカル」「バルサボン伝説」美しい夢。センメタルル。大江健三郎「政治少年死す」^西作家だ。オルガズムとしてのテロル。セイジアルは石翼。・深沢七郎「風流夢譚」民の声。土のよなニヒリなし和歌がかかる。
 - ・波平恵美子「カレントガレ構造」八丈島の月経小屋はその不淨性やアシール(避離所)としての機能がある?「生と死の人類学」「死れて行くモードの死」田辺繁治「葬儀が最終的に到達する地點は...」永続する現存の秩序構築を行はず
 - ・モンキー・パズル(ボラ・ズリンク)ハーレインロマンスいやないんだからハッピーエンドをほのぼのと。女の甘さを露呈する。
 - ・追撃のグリザード(ト・クド)これにしき上の作品にしてカゲキハに対する風当たりが強い。これらはハードボイルドではない。
 - ・グランジペア(1944-)魚一匹の無駄死にに泣く男がいいおしい。豪士としての女、その陰険さ。テロリに対する批判。丁寧いく。
 - ・いのちに触れる(鳥山敏子)鶴と蝶に食べ残業をして小学校の先生。切不断。私告、兔の解剖に立ち会い一度ひいへん人間なし
 - ・粉川哲夫「アディア牢獄」「思想の舞台」連れ子をかうらはじめて読む。「印象に残ったもの」に入れ忘れていた。ミニコミの押しつけがまして(鶴見俊輔)というがそれは霜田(かづ)ブルト(ぶくみ)につけられたらしい。P.Eも行きのでしようねスマッシュ
 - ・「玄笑地帯」筒井康隆 自己主張の場としてのベスト10がありうることを語る。(びあテクニカル少數意見の切り捨てといえキーワード)

親切心から言つてあけ"ると, Personal Effects は, もう少し ~~異質なモノ~~コト, 考え方を導入した方が良い。P.E.ナショナリズムに陥っている。

いまひとつ, 親切心から教えてあけ"ると, 中井英夫の『虚無への供物』には, 実はこう書かれてある。

「しかし, この1955年, そしてたぶん, これから先もたゞうが, 無責任な好奇心の創り出すお楽しみだけは君たちのものさ。何か面白いことはないかなあとキョロキョロしていれば, それにふさわしい突破で残酷な事件が, いくらでも現実にうまれてくる。いまはそんな時代だが, その中で自分さえ安全地帯にいて, 見物の側に廻ることが出来たら, どんな痛ましい光景でも喜んで眺めようという, それがお化けの正体なんだ。おれには, 何という: 売ましい虚無だ? とか思えない。あの薔薇の名に困んだ詩は, 何か優雅な意味らしいが, あれをもじって言えば" そんな虚無への供物のために, おれは一滴の血を流したんじやねない"

また, 親切ついでに言つておくと, 僕は痛みのともなわぬ発言は一切信用していない。自分がいまの状況~~の~~, あるいは我々の歴史から免れていよいよと思ひ入~~る~~むことの出来る人を, 愚かだと考へている。

こうした僕の発言にして, 僕には別のモノとの関わりから生まれている。

1985.12.11(水) HAL

(の諸問題)

(外部のコト)

<個人的事件>

- ・セラリーマン生活からの引退で一層なまけものになる。
- ・P.E.をはじめて月末になると悩む。
- ・運転免許をとて死に近く。
- ・やけどをして身体的特徴をややす。

<今年気に入したもの>

- ・「風の旅団」---とにかく衝撃でした。
- ・「酔いどれの説き」---J・クラマーはハードボイルドの服を着て美しい話を聞かせてくれた。
- ・映画は「砂の惑星」「死靈のはうわれ」「バスケットケース」「グリテオドーム」などのクリティスクも。TVで「遊星から」の物体Xを放映したのもうれしかった。
- ・美術はほとんど見ていないけれど遠藤彰子の迷宮のような都市とそこに遊ぶ子供たちの絵が印象に残る。

<ワースト・コンタクト>

- ・「東京ランギニヨル」にはだまされた。「見世物」という句にさわれて行ったからこんなにつまらない芝居も珍しい。衝撃的なまでに見え直したストーリーに興奮しちゃった。格好だけつけてみたいたけど今はこういうのが人気あるんだねえ。客が多過ぎる。

- ・10個目を思いつけないのか今年最大の恥。この年を前にして越年してしまった。みんな無理言ってごめんね

福本 健修

- 7日「馬鹿園」役者たちはうまいもくろいにうまく、美術・装置もよくできている。しかし何か物足りない。小指にからめた赤い糸をたぐり寄せるような喪失と探索の旅。消し去ったはずの過去を呼び起すこの典型的なパターンがうまくまとまりすぎているせいか。
- 11日霜田宅へ「1985」の原稿届け手料理の豪華な手巻寿司こちらどうぞ。このあと「発見の会・コト物産5周年記念」という内輪の忘年会のようす劇集を見る。セリフを覚えていないのもまた愛敬といった感じで軽快に楽しんで演っている。午後陣のたくましさも年季のせいか。
- 12日「全日本プロレス」武道館の3階席から見るとどうぞ淋しい。馬場アレの異常な多さに驚く。試合と共に窓の野次も真剣な所と虚構に身をゆだねるような所の境を不気味なエレキギーとしてまとめている。• 17.18日「音の交差点」久い振りに音と行為の儀式を見たせいか17日は面白かった。園児隆は以前よりも音に迫力を感じ、田中トシの人間を脱ぎ捨てていくようなネオ原初的な声と動きが印象的。
- 30日「夢一族」の芝居。年が明けて2日コンサート、3日映画と山谷に通なけれど、その催し物だけを楽しんで、山谷の人達を支援する意識が僕には薄い。こんな快樂主義的傾向はここに書くものではあらわれていて、面白かった。まことにたとえことは悪いとは思わないがそれだけですませてしまっている自分が最近いやになってしまっている。昔から自閉症で自分の世界だけに満足して遊んでいた。あれにやっと飽きたのか。
- <HAL>=(僕の友人)の苦言も心しておきます。ただしこの「親切心」を多用した文体は傲慢になっています。これだけでは高見からの物言いです。「痛み」の有無だけで(それも受け手側の独断によるかも)評価したくないし、他人にそんなことを押し付けたくない。も、と広い気持ちで見つめたい。福
- × 3日以降近所事かいづれ、油子キーパー金山水アーチスパルク